



トラフグ稚魚の雄性化を促進する飼育方法

キーワード トラフグ、雄性化、稚魚、養殖、白子

研究内容の概要：安心・安全な方法で、人工孵化トラフグのオスの比率を80%以上に高め、白子を効率的に生産する養殖法を開発しました。

高級珍味トラフグ白子増産技術

■トラフグ雄性化技術について

トラフグは通常、雌雄の割合はほぼ1対1ですが、水産研究所富山実験場では、水温調節によって白子が採れるオスを増やす技術を開発しました。

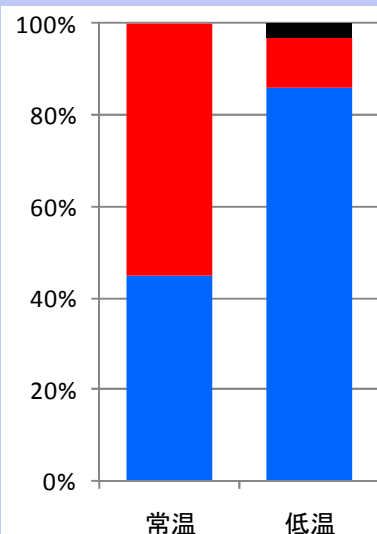
この技術は安心・安全で、養殖トラフグの高付加価値化を促進し、陸上で養殖されるトラフグのブランド化や、地域名産品の創出に繋がります。



トラフグ刺身・鍋セット



トラフグの親魚



【資料】 常温と低温で飼育したトラフグ稚魚の雌雄比の平均値の例

特長／効果

- 通常 50%であるトラフグのオスの割合を 80%以上に高める技術。
- トラフグで価値の高い白子を効率的に生産できる。
- 水温調節だけで雄性化が行えるため特別な飼育装置が不要。
- ホルモン剤や倍数体を使用しない安全・安心な方法。

利用／用途

- 養殖トラフグにおいて高付加価値化を図る。
- 陸上でのトラフグ種苗生産で用いることができる技術。
- 高付加価値な養殖トラフグのブランド化促進。
- 水温が低く、清浄な海洋深層水を利用する技術。

知的財産権等情報

特許出願 特開 2010-136708

論文等 4 編

水産研究所 服部 亘宏・澤田 好史・宮下 盛

連絡先：近畿大学 リエゾンセンター(KLC)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江 3-4-1

TEL:06-6721-2332 FAX:06-6722-0300

e-mail: klc@itp.kindai.ac.jp URL: <http://ccpc01.cc.kindai.ac.jp/KLC/index.html>